

出合い方とコミュニケーションのいろいろ ～様々な手法やツールを通して考える～ 第11回 TURN ミーティング(オンライン開催)

“違い”を超えた出合いで表現を生み出すアートプロジェクト「TURN」。「TURN ミーティング」では、「TURN」の可能性について多彩なゲストとともに考え、語り合います。第11回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により「人が集うこと」そのものが問われる今、様々なコミュニケーションの方法と、それによって生まれる人と人の関係性やその可能性について、思考を深める機会を創出します。

前半では、TURN 監修者の日比野克彦より、今日の社会情勢と生活環境の変化を視野に TURN の考え方／向き合い方について語ります。また、様々な地域と人に巡り会いながら展開してきた海外での活動を紹介する「TURN on the EARTH ～わたしはちきゅうのこだま～」の展覧会の様子とともに、AR(拡張現実)などを活用した伝え方の工夫や気づきについてお話しします。後半は、盲ろう者の意思疎通の方法と、ICT 技術を用いた支援について研究している森敦史さんをゲストにお迎えします。先天性盲ろう者の森さんが普段の生活の中で使用しているコミュニケーションの方法は、触手話、点字表示端末や点字ディスプレイなど多岐にわたります。また、通訳者や支援者といった人を介しての対話も生まれてきました。今回、日比野とのトークを通じて、様々な手法を通じたコミュニケーションとその可能性を探ります。人と人が出会う時、他者を認知する時、物理的な距離が存在する時、人はどのように他者を受け止め、コミュニケーションをとろうとするのか、人とコミュニケーションにおける根本的な問いを投げかけます。さらに、トークの合間に、マダム ボンジュール・ジャンジさんによるパフォーマンスも行いますので、ぜひお楽しみください。

また、今年度オンラインで開催する「TURN ミーティング」においても、手話、文字支援、音声ガイドなど、メディア特性を生かしたアクセシビリティに取り組みます。

■開催概要

- ・タイトル: 第11回 TURN ミーティング
- ・日 時: 令和2年(2020年)9月19日(土) 14:00～15:30
※オンライン開催(TURN 公式ウェブサイトより視聴いただけます)
- ・参加費: 無料 ※事前申込不要、手話通訳・文字支援等のアクセシビリティサポート付き
- ・スピーカー: 日比野克彦(TURN 監修者、アーティスト、東京芸術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)、森敦史(筑波技術大学総務課広報・情報化推進係)
- ・パフォーマー: マダム ボンジュール・ジャンジ(ドラァッグクイーン)
- ・主 催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学
- ・公式 URL: <https://turn-project.com>

■当日のスケジュール

14:00	開始
14:00～14:15	はじまりの挨拶
14:15～14:35	第1部:トーク 「TURNのこれまでとこれから ～変わりゆく生活環境の今とともに考える～」 出演者:日比野克彦 (TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)
14:35～14:45	パフォーマンス パフォーマー:マダム ボンジュール・ジャンジ(ドラァッグクイーン)
14:45～15:25	第2部:クロストーク 「様々な手法を通じたコミュニケーションとその可能性」 出演者:森敦史(筑波技術大学総務課広報・情報化推進係)、日比野克彦
15:25～15:30	終わりの挨拶

■出演者



森敦史(もりあつし)

先天性盲ろう者として生まれる。3歳から難聴幼児通園施設に通所し、日常的な経験をしながら手話や指文字を学ぶ。卒園後もろう学校と盲学校に進み、手話(ろう学校)と点字や指文字(盲学校)を中心に、日本語を学習する。盲学校卒業後、先天性盲ろう者として日本で初めて一般大学(ルーテル学院大学)に入学。その後、筑波技術大学大学院の情報アクセシビリティ専攻に通い、修士論文で「先天性盲ろう青年におけるICT活用と活用に向けた支援の可能性」を執筆。



© Leslie Kee

マダム ボンジュール・ジャンジ

Female Drag Queen、パフォーマー。あらゆる境界線を超えたキラキラした世界を願い、「YES! Future」と謳い続ける。1997年より交歓のAll Mix Party「ジュシー！」を主宰。主な作品「HUGたいそう」「Living Together/STAND ALONE」他。新宿二丁目にあるHIVをはじめとするセクシャルヘルスに関する情報センター&フリースペース「コミュニティセンターakta」の元センター長。



日比野克彦(ひびのかつひこ)

アーティスト、東京藝術大学美術学部長・美術学部先端芸術表現科教授。岐阜県美術館館長。日本サッカー協会社会貢献委員会委員長。1958年岐阜県生まれ。1982年日本グラフィック展大賞受賞。1986年シドニービエンナーレ参加。1995年ベネチアビエンナーレ参加。2003年より越後妻有アートトリエンナーレ参加。2010年より瀬戸内国際芸術祭参加。2013～15年六本木アートナイト、アーティストックディレクター。平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

【TURN とは】

TURN は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の一環として展開しており、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学と実施しています。また東京 2020 公認文化オリンピックでもあります。

TURN は、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN 交流プログラム」と、TURN の活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURN ミーティング」と「TURN フェス」の開催によって広くその意義を発信します。

- ・ 監 修：日比野克彦（アーティスト、東京芸術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・ プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。また、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組を「Tokyo Tokyo FESTIVAL」として展開しています。 <https://www.artscouncil-tokyo.jp>

<本リリースに関するお問い合わせ>

TURN 運営本部 Tel: 03-3824-9039 (10:00-17:15 土日祝日を除く)
E-mail: info@turn-project.com

